

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.7.26	総務部	行政システム改革室	-	-	-	-	2総行01	総務-8

業務名称	行政システム改革業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民志向・成果志向の行政経営システムを運用することができる。	各担当業務目的に設定した市民志向・成果志向の指標目標値達成率	-	100%	4人	7,500
担当業務目的	簡素で効率的かつ創造的な行政経営を行うため、制度・施策・組織・業務運営の改革を推進する。	第3次秋田市行政改革大綱実施項目達成率	23.8%	100%	4人	7,500

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 第3次秋田市行政改革大綱の進捗管理を行う				600	第3次大綱(計画期間H15~H17年度)の着実な推進を図るとともに、以後の取組については、社会経済情勢の変化等を見極めながら次期大綱の必要性も含めて検討し滞りなく対応していく必要がある。 (参考1)第3次大綱実施項目進捗状況 全項目 80項目 H15実施済 19項目(23.8%) H16実施予定 20項目(48.8%)
各年度における実施予定項目の実施率	100%	100%	進捗状況の把握 進捗状況の公表 実施項目の追加		
02 第3次大綱の重点実施項目が円滑に実施されるよう調整する。				603	<ul style="list-style-type: none"> 「 」については、平成16年度に行政経営会議を核としたシステムが稼動することとなった。 「 」については、平成16年度中に実施に向けた調整を終える予定である。 「 」については、基本となる考え方や実施に移す際の基準等について引き続き検討していく必要がある。 当該業務については、行革室としての作業は一段落する。(H17年度事業費は 603)
重点実施項目の実施率	0%	100%	トップマネジメント機能の強化 水道事業と下水道事業の組織統合による一本化 公社改革の推進 交通事業改革の推進 受益と負担の適正化		
03 成果志向の行政経営システムを構築する。				6,297	行政経営システム導入作業は平成16年度で一段落するが、引き続きシステムの定着・高度化を図るため、マネジメントサイクルの確立や業務棚卸手法に関する教育・訓練の実施、政策形成機能の強化に向けた政策基本情報の整備等を進めていく必要がある。 教育・訓練はシステム定着を主目的とするものに組み替え、経費の圧縮を図る。 行政評価システムの実際の運用においては、目標設定の適正さの管理と成果の把握が必要であり、その手法を開発する。
成果志向の視点からの各業務の見直し作業の実施率	-	100%	業務棚卸法を用いた行政評価システムの導入 財政システムや総合計画等との連動 マネジメントサイクル(PDCA)の確立 教育・訓練の実施 制度化の推進		
99 庶務経理業務				-	
適正処理率	100%	100%			